

母児 01 : オリエンテーション・プレコンセプションケア

日時 : 4月10日(金) 1時限

担当者 : 亀井 良政(産科・婦人科)

内容 :

1. ★D-10 産科の概論について述べるができる。
2. 産科学の臨床に、集学的医療の側面があることを理解できる。
3. 妊娠前からの健康管理(プレコンセプションケア)について理解できる。
4. 女性性器の解剖・組織、性周期における内分泌変化を説明できる。
5. 正常妊娠の経過を説明できる。
6. 胎児・新生児に対する生命倫理を持つことができる。

キーワード :

女性性器の解剖、排卵、着床、胎盤

女性性器の構造と機能

受精、受精卵、卵割、輸送、着床、妊娠維持、妊娠持続期間、胎盤、卵膜、臍帯、羊水

教科書 :

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p34-56 p336-343 350-356

予習 :

女性性器の構造と生殖生理について、3年生で学習した内容を復習しておく(15分)。

復習 :

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する(10分)。

母児 02 : 妊娠の成立と維持

日時 : 4月13日(月) 1時限

担当者 : 梶原 健(産科・婦人科)

内容 :

1. ★D-10-1 排卵から着床までのメカニズムを説明できる。
2. 初期妊娠維持の仕組みを説明できる
3. 妊娠に伴う身体的変化を概説できる。
4. 妊娠での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。

キーワード :

成熟分裂(meiosis)、染色体(chromosome)、排卵(ovulation)、透明帯(zona pellucida)、先体反応(acrosome reaction)、受精(fertilization)、桑実胚(morula)、胞胚(blastocyst)、着床(implantation)、基礎体温(basal body temperature)、

女性性器の構造と機能

妊娠徴候、性器の変化、全身の変化(性器以外)

教科書 :

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p46-56 p336-343 p360-363 486-487

予習 :

正常妊娠における診断の手順、正常経過に伴う母体・胎児の変化について、教科書で学習しておくこと(10分)。

復習 :

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する(10分)。

母児 03 : 胎児・胎児付属物の発生と生理

日時 : 4月14日(火) 5時限

担当者 : 亀井 良政(産科・婦人科)

内容：

1. ★D-10-3 胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。
2. 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。
3. 胎児の器官の形成、機能の発達について説明できる。
4. 胎児の成長の評価について概説できる。
5. 胎児付属物の構造と機能について概説できる。

キーワード：

器官形成(Organ formation)、先天奇形、胎児付属物(Fetal appendage)、胎児発育(Fetal growth)、妊卵<胚>、胎芽、胎児、器官形成期、成長の評価、胎児の形態、皮膚、感覚器、呼吸器、循環器、消化器、血液、造血器、腎、泌尿器、生殖器、Wolff管、Muller管、神経、運動器、内分泌、代謝、免疫、胎児・胎盤循環、動脈管、静脈管、卵円孔、内分泌機能、ガス・物質交換

教科書：

◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p343-359

予習：

胎児の正常発育パターンとその評価方法について、教科書で学習しておくこと (15分)。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する (10分)。

母児 04：周産期遺伝概論

日時：4月16日(木) 3時限

担当者：難波 聡(ゲノム医療科)

内容：

1. ★D-10-1 メンデル遺伝学の各遺伝形式の特徴を説明できる。
2. 家系図を作成、評価 (Bayes の定理、リスク評価) できる。
3. 生殖細胞系列変異と体細胞変異の違いを説明でき、遺伝学的検査の目的と意義を概説できる。
4. ★D-10-4 遺伝情報の特性 (不変性、予見性、共有性) を説明できる。
5. 遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。
6. 遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮を説明できる。
7. 遺伝医学関連情報にアクセスすることができる。
8. 遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる。

キーワード：

メンデル遺伝、常染色体顕性遺伝 (優性遺伝)、常染色体潜性遺伝 (劣性遺伝)、X連鎖性遺伝、遺伝的多型、転座保因者、ゲノム刷り込み、片親性ダイソミー、着床前診断、出生前診断、家系図、Bayes の定理、リスク評価、生殖細胞系列変異、体細胞変異、遺伝カウンセリング

教科書：

◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p499-509

◆ 標準小児科学 第8版, 原寿郎/高橋孝雄/細井創, 医学書院, p145-159

予習：

胎児および新生児について、先天異常あるいは遺伝性疾患の発症原理と診断のための検査方法、遺伝カウンセリングについて、教科書で学習しておくこと (10分)。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する (10分)。

母児 05：妊娠初期の異常

日時：4月17日(金) 2時限

担当者：亀井 良政(産科・婦人科)

内容：

1. 妊娠初期に起こりうる疾患を列挙できる。
2. それぞれの病態生理を説明できる。
3. それぞれの診断法、治療法について説明できる。
4. 妊娠悪阻、悪心・嘔吐について特徴と治療を説明できる。
5. 主な異常妊娠（流産、切迫流産、異所性妊娠）の病態を説明できる。
6. 絨毛性疾患の分類、診断、治療について説明できる。
7. 不育症の原因について説明できる。

D-10-2 D-10-3

キーワード：

妊娠悪阻(Hyperemesis)、切迫流産(Threatened abortion)、進行流産(Inevitable abortion)、不全流産(Imcomplete abortion)、完全流産(Complete abortion)、稽留流産(Missed abortion)、異所性妊娠(Ectopic pregnancy)、胞状奇胎(Molar vesicle)、頸管無力症、絨毛性疾患(Molar Disease)、不育症(Recurrent Pregnancy Loss)、流産、習慣流産

教科書：

◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p364-385

予習：

流産の定義、妊娠悪阻の病態、異所性妊娠の症状と診断および治療について、教科書で学習しておくこと（10分）。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する（10分）。

母児 06：妊娠による母体の変化と妊娠中の管理

日時：4月21日（火） 1時限

担当者：田丸 俊輔(産科・婦人科)

内容：

1. ★D-10-1 妊娠に伴う母体の構造的・生理的な変化、精神問題を説明できる。
2. 妊娠の管理に必要な基本的用語を説明できる。
3. 妊娠の母体徴候と診断方法について説明できる。
4. 妊産婦健康診査の内容について説明できる。
5. ハイリスク妊娠の因子について概説できる。
6. 妊娠中の検査の概要を理解できる。

キーワード：

超音波検査法(Ultrasonography)、妊娠の診断、妊娠時期の診断、妊婦健康診査

教科書：

◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p360-363 p483-498

予習：

妊娠週数確定までに至る経過中に実施する検査内容と分娩予定日確定の方法について、教科書で学習しておくこと（10分）。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する（10分）。

母児 07：妊娠中期・後期の異常 1

日時：4月23日（木） 4時限

担当者：亀井 良政(産科・婦人科)

内容：

1. ★D-10-4 妊娠高血圧症候群の診断基準と対応について説明できる。
2. 妊娠高血圧症候群の類縁疾患の内容を説明できる。
3. 早産・切迫早産の成因と治療について説明できる。
4. 過期妊娠の定義と対応について説明できる。

キーワード：

妊娠高血圧症候群(Hypertensive Disorders of Pregnancy)、胎児超音波検査、胎児胎盤血流検査、早産(Preterm Delivery)、切迫早産(Threatend Preterm Labor)、胎児心拍数陣痛図、過期妊娠(Post-term Delivery)

超音波検査、血液検査、血液型、胎勢、Leopold 診察法、頸管成熟度、Bishop スコア、胎児心拍数、発育、成熟、出生前診断、子宮頸管長、胎児心拍数陣痛図< CTG >、羊水ポケット、羊水指数< AFI >、胎児血液検査

教科書：

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p385-409

備考：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する(10分)。

予習：

妊娠高血圧症候群と早産について、その定義と原因、治療法を学習しておくこと(10分)。

母児 08：妊娠中期・後期の異常 2

日時：4月24日(金) 3時限

担当者：亀井 良政(産科・婦人科)

内容：

多胎妊娠、羊水量異常、胎盤位置異常の定義と分類、対応について説明できる。

1. ★D-10-4 多胎妊娠の分類とリスク、対応について説明できる。
2. 血液型不適合妊娠の病態と予防について説明できる。
3. 羊水量の異常による病態と対応について説明できる。
4. 胎盤位置異常(前置胎盤・低置胎盤)の診断と管理について説明できる。
5. 癒着胎盤の病態と管理について説明できる。
6. 臍帯異常にともなう病態について概説できる。

キーワード：

多胎妊娠、血液型不適合妊娠、羊水過多、羊水過少、前置胎盤、低置胎盤、癒着胎盤、臍帯巻絡、臍帯脱出

教科書：

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p409-436

予習：

多胎妊娠、羊水量異常、胎盤位置異常の定義と分類、対応について教科書で学習しておくこと(10分)。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する(10分)。

母児 09：胎児の異常

日時：4月28日(火) 1時限

担当者：田丸 俊輔(産科・婦人科)

内容：

1. ★D-10-4 胎児・胎盤検査法(超音波検査、分娩監視装置による)の意義を説明できる。
2. 胎児発育不全の原因と予後について説明できる。

3. biophysical profile score < BPS >について概説できる。
4. 胎盤機能不全の徴候と対応について説明できる。
5. 血液ガス分析の異常の機序について説明できる。

代表的な胎児先天異常について列挙し、胎児治療の可否を理解できる。

キーワード：

推定胎児体重、胎児発育不全 (Fetal Growth Retardation)、biophysical profile score < BPS >、胎児胎盤機能不全、胎児先天異常、胎児治療(Fetal Therapy)

胎児・胎盤検査法 (超音波検査、分娩監視装置による)

大横径< BPD >、大腿骨長< FL >、腹囲< AC >、推定胎児体重< EFW >、胎児発育不全、胎児成熟度検査、肺サーファクタント、マイクロバブルテスト、胎児心拍数陣痛図< CTG >、ノンストレステスト< NST >、コントラクションストレステスト< CST >、biophysical profile score < BPS >、超音波ドプラ法、パルスドプラ法、羊水量、胎動、血液ガス分析

教科書：

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p436-440 p492-498

予習：

胎児発育不全の診断方法とその検査方法について、教科書で学習しておくこと (10分)。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する (10分)。

母児 10：合併症妊娠・母子感染

日時：4月28日(火) 2時限

担当者：田丸 俊輔(産科・婦人科)

内容：

主な合併症妊娠の対応と母子感染の原因病原体と症状について説明できる。

1. ★D-10-4 主な婦人科疾患合併妊娠の病態を説明できる。
2. 心血管疾患合併などの内科疾患合併妊娠のリスクについて説明できる。
3. 糖代謝異常合併妊娠の診断と管理について説明できる。
4. 母子感染の診断方法と予防・胎児異常のリスクについて説明できる。

キーワード：

子宮筋腫合併妊娠 妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠、TORCH 症候群、母子感染

教科書：

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p447-482

予習：

主な合併症妊娠の対応と母子感染の原因病原体と症状教科書で学習しておくこと (20分)。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する (10分)。

母児 11：正常分娩の生理

日時：4月30日(木) 4時限

担当者：亀井 良政(産科・婦人科)

内容：

分娩の概念について説明できる。

1. ★D-10-3 陣痛発来機序について説明できる。
2. 分娩の3要素を説明できる。
3. 軟産道の分娩中の変化について説明できる。
4. 骨産道の評価ができる。

5. 正常な胎児児頭の回旋機転について説明できる。
6. 正常分娩の経過について説明できる。

キーワード：

分娩の3要素、微弱陣痛、過強陣痛、軟産道、骨産道、児頭の回旋(第一回旋、第二回旋、第三回旋、第四回旋)、前方後頭位

教科書：

◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p510-528

予習：

正常分娩の機転について、教科書で学習しておくこと (10分)。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する (10分)。

母児 12 : 分娩の異常 1

日時 : 5月8日 (金) 3時限

担当者 : 亀井 良政(産科・婦人科)

内容：

前期破水と陣痛異常、児頭回旋異常について説明できる。

1. ★D-10-4 前期破水の定義と周産期リスク、管理法について説明できる。
2. 陣痛の異常の定義と合併症、対応について説明できる。
3. 遷延分娩の定義と対応について説明できる。
4. 産道の異常について診断と対応ができる。
5. 児頭の回旋異常の病態について説明できる。

キーワード：

前期破水、早期破水、子宮内感染、微弱陣痛、過強陣痛、狭骨盤、児頭骨盤不適合、児頭の回旋・胎勢の異常(反屈位、後方後頭位、低在横定位)、骨盤位、遷延分娩、

教科書：

◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p529-541

予習：

前期破水と陣痛異常、児頭回旋異常教科書で学習しておくこと (10分)。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する (10分)。

母児 13 : 分娩の異常 2

日時 : 5月11日 (月) 6時限

担当者 : 亀井 良政(産科・婦人科)

内容：

1. ★D-10-4 胎児機能不全の病態と診断、対応について説明できる。
2. 主な異常分娩(前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離)の病態を説明できる。
3. 臍帯巻絡、臍帯下垂、臍帯脱出、臍帯結節の対応について説明できる。
4. 子宮破裂、頸管・膣・会陰裂傷の対応について説明できる。
5. 羊水過多症、羊水過少症の原因と診断基準、対応について説明できる。

キーワード：

胎児機能不全、前置胎盤、低置胎盤、常位胎盤早期剥離、産道損傷、羊水過多、羊水過少、弛緩出血、子宮内反症、羊水塞栓症、産褥大量出血

教科書：

◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p542-570

予習：

分娩中の異常特に胎児機能不全と胎盤位置異常について定義と対応について予習しておく。(10分)

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する(10分)。

母児 14：分娩の管理

日時：5月18日(月) 6時限

担当者：亀井 良政(産科・婦人科)

内容：

1. 分娩での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。
2. 正常分娩の経過を説明できる。
3. 分娩時期の診断方法について説明できる。
4. 胎盤剥離徴候について概説できる。

D-10-3

キーワード：

陣痛(labor pains)、骨産道(bony birth canal)、軟産道、真結合線(true conjugate)、Station、ビシヨップスコア、児頭の固定(fixation)、回旋(rotation)、分娩時期(1期～4期)、胎児下降度、頸管開大度、陣痛、胎児心拍数陣痛図<CTG>、パルトグラム、胎盤剥離徴候

産道(骨産道(bony birth canal)、軟産道)、娩出物(胎児、胎児付属物)、胎向、胎位、胎勢、娩出力(陣痛(labor pains)、腹圧)、産徴、前陣痛<前駆陣痛>、分娩開始、分娩時期(第1期<開口期>、第2期<娩出期>(second stage of labor)、第3期<後産期>)、破水、児頭の浮動・下降・進入・固定(fixation)・嵌入、回旋(rotation)(第1～4回旋)、児頭の変形、応形機能、骨重積、産瘤、排臨、発露

教科書：

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p571-582

予習：

正常分娩の開始から児娩出までの大まかな流れを説明できるように、陣痛、破水などの基本的な単語については、教科書で学習しておくこと(10分)。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する(10分)。

母児 15：産科の処置・手術

日時：5月22日(金) 1時限

担当者：亀井 良政(産科・婦人科)

内容：

主な産科手術・処置の内容と対象疾患について理解できる。

1. ★D-10-5 子宮内容除去術の方法について説明できる。
2. 子宮頸管縫縮術の方法と対象疾患について説明できる。
3. 遷延分娩、分娩停止、多胎分娩、肩甲難産の対応について説明できる。
4. 帝王切開術の適応を説明できる。
5. 骨盤位分娩の分類と危険性について説明できる。
6. 分娩誘発・陣痛促進の手法と適応、リスクについて説明できる。

キーワード：

頸部子宮筋腫、遷延分娩、帝王切開後分娩、子宮内容除去術、子宮頸管縫縮術、前期破水、早期破水、微弱陣痛、過強陣痛(severe labor pains)、児頭骨盤不均衡<CPD>、狭骨盤、骨盤位、横位、斜位、後方後頭位、低在横定位、高在縦定位、不正軸進入、分娩停止(cephalopelvic disproportion (CPD))、

鉗子遂娩術、吸引遂娩術、帝王切開術、骨盤位牽出術肩甲難産、子宮破裂、頸管・腔・会陰裂傷、骨盤位分娩、分娩誘発、陣痛促進

教科書：

◆ 標準産科婦人科学 第5版，綾部琢哉/板倉敦夫，医学書院，p529-542 p561-563 p580 p589-592

予習：

主な産科手術・処置の内容と対象疾患について、教科書で学習しておくこと（10分）。

母児 16：産褥と乳汁分泌

日時：5月22日（金） 2時限

担当者：田丸 俊輔（産科・婦人科）

内容：

1. ★D-10-3 産褥期の母体の変化について説明できる。
2. 産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。
3. 主な異常産褥（子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎）の病態を説明できる。
4. 産褥期精神障害の病態と対応について説明できる。
5. 母乳の分泌とその変化について説明できる。

キーワード：

産褥精神障害、マタニティーブルー、産褥うつ病、産褥熱、初乳、成乳

教科書：

◆ 標準産科婦人科学 第5版，綾部琢哉/板倉敦夫，医学書院，p602-618

予習：

産褥精神障害について、教科書で学習しておくこと（10分）。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する（10分）。

母児 17：母子保健

日時：5月25日（月） 1時限

担当者：田丸 俊輔（産科・婦人科）

内容：

1. ★B-1-8 胎児障害の原因となる環境要因、薬物について列挙できる。
2. 母子保健法の主たる項目とその内容について説明できる。
3. 母体保護法について説明できる。
4. 産科医療補償制度について説明できる。
5. 母子保健統計の主たる数値について説明できる。

キーワード：

胎児奇形、催奇性物質、母子保健法、母体保護法、産科医療補償制度、母子保健統計

教科書：

◆ 標準産科婦人科学 第5版，綾部琢哉/板倉敦夫，医学書院，p655-670

予習：

母子保健の法令と統計について勉強しておく（10分）。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する（10分）。

母児 18 : 産科救急

日時 : 5月28日(木) 3時限

担当者 : 關 博之(総セ 総合周産期母子医療センター産科)

内容 :

1. ★D-10-4 産科救急(産科出血、播種性血管内凝固<DIC>)の病態と治療を説明できる。
2. 弛緩出血、子宮内反症、羊水塞栓症、血栓塞栓症、仰臥位低血圧症候群について概説できる。

キーワード :

産科救急、

弛緩出血、子宮内反症、羊水塞栓症、血栓塞栓症、仰臥位低血圧症候群、産科DIC、ショック指数<shock index>、播種性血管内凝固<DIC>、子宮復古不全、産褥熱、恥骨結合離開、乳腺炎、乳汁分泌不全、産褥血栓症、肺塞栓症、産褥期精神障害

教科書 :

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p561-570

予習 :

母体の救急疾患について、その原因と病態、診断方法、治療法について、教科書で学習しておくこと(10分)。

復習 :

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する(10分)。

母児 19 : 先天異常

日時 : 6月1日(月) 1時限

担当者 : 沼倉 周彦(ゲノム医療科)

内容 :

1. 新生児マススクリーニングを説明できる。
2. ★C-4-1 遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮を説明できる。
3. 遺伝医学関連情報にアクセスすることができる。

キーワード :

人権、遺伝子診断、新生児マススクリーニング、遺伝子治療
先天性疾患、新生児マススクリーニング
新生児マススクリーニング、タンデムマス・スクリーニング

教科書 :

- ◆ 標準小児科学 第8版, 原寿郎/高橋孝雄/細井創, 医学書院, p159-195

参考書 :

- ◆ 医科遺伝学, 松田一郎, 南江堂, p56-73

予習 :

タンデムマス・スクリーニングを始めとして新生児マススクリーニングによる早期発見と治療可能な先天性代謝疾患について、教科書及び参考書で学習しておくこと(10分)。

復習 :

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する(10分)。

母児 20 : 新生児の生理

日時 : 6月2日(火) 2時限

担当者 : 側島 久典(総セ 総合周産期母子医療センター新生児科)

内容 :

1. ★E-7-1 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。

2. 新生児の生理的特徴を説明できる。
3. 新生児の循環動態の変化を説明できる。
4. 新生児の呼吸確立の仕組みを理解できる。

キーワード：

母乳保育、消化管吸収、ヘモグロビンF、酸素飽和度解離曲線

胎児、循環・呼吸、生理的特徴、出生時の変化、新生児

呼吸、循環、臍帯脱落、体温、腎臓、体液、肝臓、ビリルビン代謝、生理的黄疸、消化、胎便、移行便、生理的体重減少、血液、免疫、IgG、IgA、IgM、胎児ヘモグロビン

教科書：

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版，綾部琢哉/板倉敦夫，医学書院，p620-625
- ◆ 標準小児科学 第8版，原寿郎/高橋孝雄/細井創，医学書院，p77-84

予習：

出生後の急激な環境の変化に伴う新生児の適応過程について、教科書で学習しておくこと（10分）。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する（10分）。

母児 21：新生児の診察

日時：6月8日（月） 2時限

担当者：難波 文彦（総セ 総合周産期母子医療センター新生児科）

内容：

1. ★E-7-1 低出生体重児固有の疾患を概説できる。
2. 新生児の一般的診察、Apgar スコアについて概説できる。
3. 原始反射の意義と種類について説明できる。

キーワード：

原始反射、Apgar スコア、肺サーファクタント、機能的残気量、肺胞形成

Apgar スコア

一般的診察、Apgar スコア、神経学的診察、フロッピーインファント、診察時の注意、外表奇形、出生時の身長・体重、身体的特徴、頭囲、胸囲、大泉門

教科書：

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版，綾部琢哉/板倉敦夫，医学書院，p625-633
- ◆ 標準小児科学 第8版，原寿郎/高橋孝雄/細井創，医学書院，p76-77 p84-88

予習：

出生した新生児の評価方法について、教科書で学習しておくこと（10分）。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する（10分）。

母児 22：新生児の異常 1

日時：6月10日（水） 1時限

担当者：國方 徹也（小児科）

内容：

1. ★E-7-1 新生児期の異常を列挙し、それぞれの原因、病態、対応について概説できる。
2. 新生児仮死の病態を説明できる。
3. 新生児の神経疾患について説明できる。

キーワード：

新生児仮死、Apgar スコア、臍帯動脈血液ガス、低出生体重児、早期産児、低酸素性虚血性脳症、頭蓋内出血、脳室周囲白質軟化症

教科書：

- ◆ 新生児学テキスト，日本新生児成育医学会編，メディカ出版，p105-126, p307-358

参考書：

- ◆ 新生児学入門（第5版），仁志田博司，医学書院，p132-140, p350-371

予習：

新生児仮死の診断基準を理解し、その原因、病態、対応について、教科書及び参考書で学習しておくこと（10分）。早産児の神経疾患について参考書で学習しておくこと（10分）

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する（10分）。

母児 23：新生児の異常 2

日時：6月16日（火） 3時限

担当者：側島 久典(総セ 総合周産期母子医療センター新生児科)

内容：

1. ★E-7-1 新生児期の呼吸障害の病因を列举できる。
2. 呼吸窮迫症候群< RDS >について病態と症候を概説できる。
3. マイクロバブルテストについて方法と所見を概説できる。
4. 胎便吸引症候群< MAS >について病態とリスクを概説できる。
5. 未熟児無呼吸発作、新生児慢性肺疾患について病態とリスクを概説できる。

キーワード：

新生児呼吸窮迫症候群、新生児一過性多呼吸

新生児期、呼吸障害

呼吸窮迫症候群< RDS >、マイクログラブルテスト、胎便吸引症候群< MAS >、一過性多呼吸、未熟児無呼吸発作、新生児慢性肺疾患、Wilson-Mikity 症候群

教科書：

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版，綾部琢哉/板倉敦夫，医学書院，p639-642
- ◆ 標準小児科学 第8版，原寿郎/高橋孝雄/細井創，医学書院，p88-91 p108-115

予習：

新生児呼吸障害の原因、診断と治療方法について、教科書で学習しておくこと（10分）。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する（10分）。

母児 24：新生児の異常 3

日時：6月17日（水） 1時限

担当者：國方 徹也(小児科)

内容：

1. ★E-7-1 新生児黄疸の鑑別と治療を説明できる。
2. 高ビリルビン血症をきたす疾患を列举できる。
3. 新生児黄疸に対する治療を説明できる。

キーワード：

新生児黄疸、生理的黄疸、高ビリルビン血症、ビリルビン脳症、新生児溶血性疾患

教科書：

- ◆ 新生児学テキスト 日本新生児成育医学会編，メディカ出版，p470-476

参考書：

- ◆ 新生児学入門（第5版），仁志田博司，医学書院，p286-304

予習：

新生児期の黄疸について、その発症原因、診断方法、ならびに治療法について、教科書及び参考書で学習しておく（10分）。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する（10分）。

母児 25：新生児の外科的疾患

日時：6月23日（火） 3時限

担当者：田中 裕次郎(小児外科)

内容：

1. ★E-7-1 主な先天性疾患を列挙できる。
2. 新生児期に嘔吐する小児外科疾患を列挙しその診断・治療法を説明できる。
3. 新生児期に腹部膨満をきたす小児外科疾患を列挙しその診断・治療法を説明できる。
4. 自然治癒する可能性のある小児外科疾患を列挙できる。
5. 新生児外科に必要な生理・病態を理解する。
6. 外科的治療に必要な新生児の術前・術後管理を概説できる。
7. 小児外科の常用検査について理解する。

キーワード：

小児外科の特殊性、新生児の病態・生理、先天性食道閉鎖(congenital esophageal atresia)、胃食道逆流(gastroesophageal reflux disease; GERD)、胃軸捻転(gastric volvulus)、肥厚性幽門狭窄(hypertrophic pyloric stenosis)、先天性十二指腸閉鎖(congenital duodenal atresia)、腸回転異常症、中腸軸捻転(midgut volvulus)、壊死性腸炎(necrotizing enterocolitis; NEC)、胎便関連性イレウス(meconium-related ileus)、特発性腸穿孔(focal intestinal perforation; FIP)、胎便性腹膜炎(meconium peritonitis)、ヒルシュスプルング病(Hirschsprung disease)、鎖肛(imperforate anus)、鼠径ヘルニア(inguinal hernia)、臍ヘルニア(umbilical hernia)、臍帯ヘルニア(omphalocele)、腹壁破裂(gastroschisis)、精巣水腫(hydrocele testis)、Nuck管水腫(Nuck hydrocele)、停留精巣(undescended testis)

先天性疾患

教科書：

- ◆ 標準産科婦人科学 第5版, 綾部琢哉/板倉敦夫, 医学書院, p642-645
- ◆ 標準小児科学 第8版, 原寿郎/高橋孝雄/細井創, 医学書院, p483-502 p615-616

参考書：

- ◆ 標準小児外科学 (第8版) Standard textbook, 上野滋, 医学書院, p148-p243, p272-p287.

予習：

主な先天性外科疾患について、教科書・参考書で学習しておくこと（10分）。

復習：

キーワードとその内容について、配布された資料で理解する（10分）。